

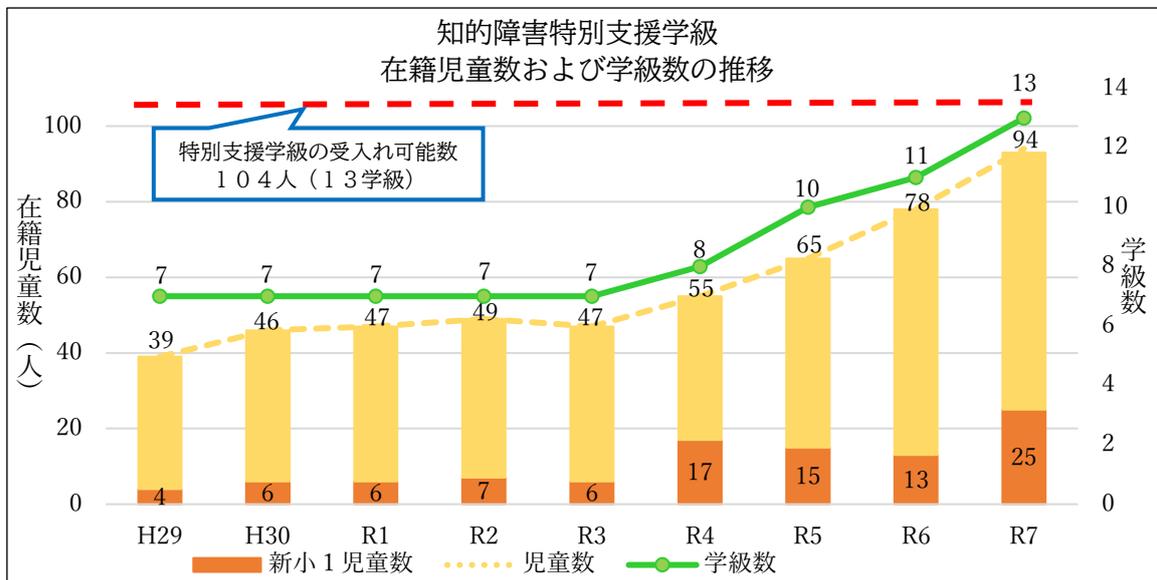
小学校知的障害特別支援学級の整備について

1 区立小中学校特別支援学級の整備に関する方針

- ・ 「現在の設置校で対応できる児童・生徒数の8割程度に達した場合」学級増設を検討する。
- ・ 学級整備にあたっては、指導スペースや設備、区内の設置校分布状況に留意する。

2 現在の状況

- ・ 区立小学校4校（東泉・蔵前・松葉・金竜）に知的障害特別支援学級が設置されており、在籍児童数は合計94人となっている。（令和7年12月31日時点）
- ・ 知的障害特別支援学級に就学する児童数は増加しており、受け入れ可能数が上限に達しつつある。



3 各校の状況

- ・ 東泉小は高学年の在籍児童が少なく、入学児童数は増加傾向にある。
- ・ 金竜小は高学年の在籍児童が少なく、入学児童数は増加傾向にある。
- ・ 松葉小は卒業児童数と入学児童数が、概ねバランスよく推移している。
- ・ 蔵前小は高学年の在籍児童が比較的多いため、学級増の可能性は低い。

4 新規整備校

現状でニーズに応えられていない地域に整備するため、既存校における受け入れ可能な児童数、指導スペース等を勘案し、あらたに千束小学校に整備する。(図面別紙)

5 予算額 (案)

49,337千円

6 今後の予定

令和8年度

環境整備、就学相談実施

令和9年4月

学級開設

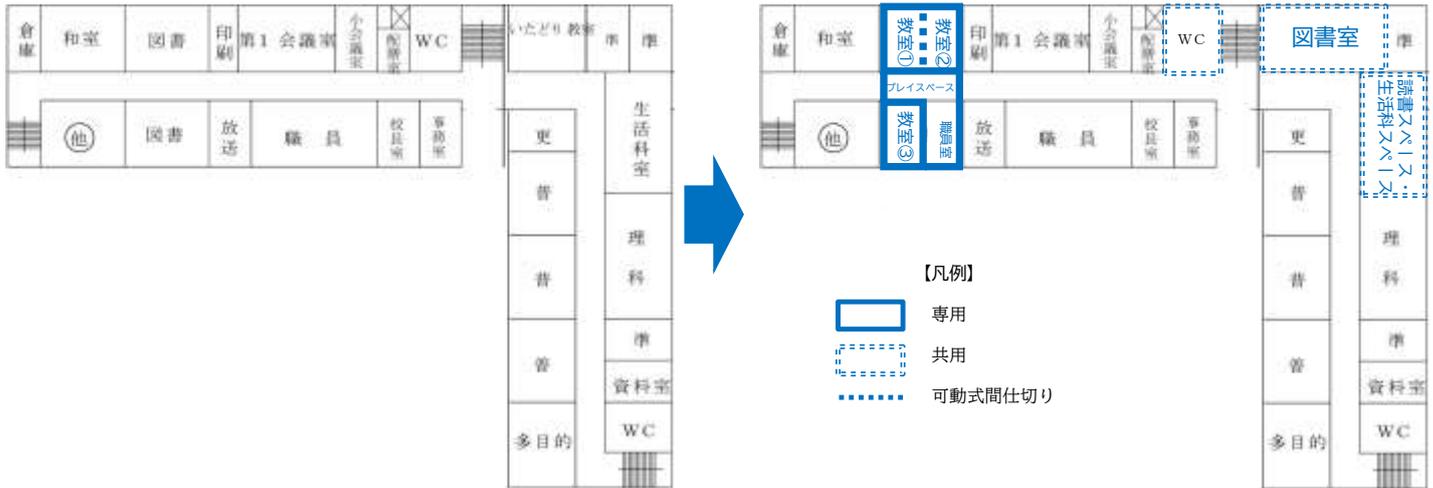
整備内容（案）について

千束小学校（2階・平面図）

- ・図書室を、特別支援学級の「教室（30.8㎡）×3」、「プレイスペース」（約37.2㎡）、「職員室」（約20㎡）として整備する。
- ・いたどり教室、準備室（相談室として運用）を、図書室の移設先とする（合わせて約98㎡）。
- ・生活科室は、読書スペースとして活用し、生活科の学習スペースとしても兼用する。

現在

整備案



千束小学校（4階・平面図）

- ・算数ルーム①（70㎡）を、いたどり教室（特別支援教室）として、整備する。
- ・楽器保管庫（30.8㎡）を、相談室として整備する。
- ・楽器保管庫の楽器は、新相談室、児童更衣室に分散収納する。
- ・算数ルームは、普通教室の空き教室を利用する。（年度ごとに必要に応じて移転する）

現在

整備案

